



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.894 2013年8月12日

ARIBの動き

ボツワナ共和国における ISDB-T 方式の本放送開始及び普及活動について

我が国が開発した ISDB-T 方式の採用を本年 2 月にアフリカで初めて決定したボツワナ共和国において、7 月 29 日、本放送開始式典が首都ハボローネにおいて開催されました。

同式典には、ボツワナのケディキルウェ副大統領、マシシ大統領府大臣、モレフィ運輸通信大臣、外務大臣、教育大臣等の要人が出席し、日本からは橋総務大臣政務官、小林駐ボツワナ日本大使、関総務省情報通信国際戦略局次長等の他、ARIB 及び会員企業が参加しました。橋政務官から、ボツワナに対する技術移転の支援や、両国の経済・文化交流の一層の発展を期待する旨のご挨拶があり、ケディキルウェ副大統領による“ボタン押し”セレモニーにより本放送が開始されました。



式典での橋政務官ご挨拶



ケディキルウェ副大統領による
”ボタン押し”セレモニー



日本企業展示ブース

また、続く 7 月 30 日、31 日にはボツワナと日本との第 1 回共同作業部会が開催されました。

同作業部会では、今後ボツワナにおいて円滑に地上デジタル放送を普及させるために必要となる、デジタル移行マスタープラン、チャンネルプラン、ネットワーク構築、アナログ停波等について、日本での知見等をもとに説明を行いました。ボツワナ側からは大統領府、運輸通信省、放送事業者等が、日本側からは総務省、ARIB 並びに会員企業等が参加し、開会においてはモレフィ運輸通信大臣、橋政務官のご挨拶がありました。

ARIB からは、藤本研究開発本部次長が ISDB-T 関連の ARIB 標準規格や「デジタル放送普

及活動作業班（DiBEG）」の活動について概要説明を行うとともに、DiBEG の 7/8MHz タスクフォースにて検討された 8MHz 帯域幅の ISDB-T 標準案について、タスクフォース主任の実井様が紹介を行いました。また、DiBEG アドバイザーの丸山様がチリを始めとする南米での状況や、アンゴラに派遣されている JICA 専門家の松岡様がアンゴラでの支援状況等について紹介を行いました。

今後、共同作業部会のもとにワーキンググループを設置して詳細について検討を進め、その結果をもとに第 2 回共同作業部会を開催することとなりました。



共同作業部会でのモレフィ運輸通信大臣ご挨拶



実井タスクフォース主任



丸山 DiBEG アドバイザー



松岡 JICA 専門家

今週・来週の ARIB 内会議スケジュール（8 月 12 日～8 月 23 日）

今週・来週は開催を予定している会議はありません。

総務省からのお知らせ

第 4 世代移動通信システムの技術的条件

— 情報通信審議会からの一部答申 —

[【平成 25 年 7 月 24 日の総務省報道資料から】](#)

総務省は、情報通信審議会（会長：西田 厚聰 株式会社東芝 取締役会長）から、平成 7 年 7 月 24 日付け電気通信技術審議会諮問第 81 号「携帯電話等の周波数有効利用方策」のうち「第 4 世代移動通信システム（IMT-Advanced）の技術的条件」について一部答申を受けました。

1 背景

我が国の移動通信システム（携帯電話及び広帯域移動無線アクセスシステム（BWA））の加入者数及び人口普及率は、それぞれ 1 億 3807 万加入、107.8%となっており（平成 24 年 12 月末現在）、1 人で複数台の端末を利用するような使い方も確実に広がってきています。

ここ数年のワイヤレスブロードバンドシステムの世界的な普及拡大を背景に、移動通信システムの分野においても、スマートフォンの利用や、高速データ通信の利用が急激に拡大しており、より高速・大容量で利便性の高い第 4 世代移動通信システムの早期導入に大きな期待が寄せられています。

このような背景を踏まえ、国内外の技術進化の動向及び周波数の一層の有効利用を考慮して、第 4 世代移動通信システムの導入に向けて、平成 24 年 4 月から情報通信審議会において審議が行われ、「第 4 世代移動通信システム（IMT-Advanced）の技術的条件」について、7 月 24 日、情報通信審議会から一部答申を受けました。

2 答申の概要

一部答申の概要は、[別紙](#)のとおりです。

3 今後の予定

総務省では、本一部答申を踏まえ、無線設備規則の改正等実用化に向けた制度整備を進めていく予定です。

【関係報道資料】

・「第 4 世代移動通信システム（IMT-Advanced）の技術的条件」の審議開始（平成 24 年 4 月 25 日）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000093.html

・「携帯電話等高度化委員会報告（案）に対する意見の募集 ー第 4 世代移動通信システムの技術的条件についてー」（平成 25 年 5 月 24 日）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000144.html

・携帯電話等高度化委員会報告（案）に対する意見の募集の結果 ー第 4 世代移動通信システムの技術的条件についてー（平成 25 年 7 月 23 日）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000156.html

【連絡先】

総合通信基盤局電波部移動通信課

担当：五十嵐課長補佐、西森第二技術係長、難波官

住所：〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎第 2 号館

電話：(直通)03-5253-5893 (代表)03-5253-5111 内線 5893

FAX：03-5253-5946

E-mail：enhanced-mobile_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

V-High 移動受信用地上基幹放送に係る参入希望調査の実施

【平成 25 年 8 月 5 日の総務省報道資料から】

総務省は、地上テレビジョン放送のデジタル化に伴い利用可能となった 207.5MHz 以上 222MHz 以下の周波数を使用して行う移動受信用地上基幹放送（以下「V-High 放送」という。）に係る基幹放送業務の認定申請（第 2 次申請）に関し、8 月 5 日（月）から 9 月 4 日（水）までの間、参入希望調査を実施します。

1 実施期間

平成 25 年 8 月 5 日（月）から 9 月 4 日（水）

2 対象者

V-High 放送を行うことを希望する者

3 調査項目

V-High 放送に係る参入希望調査 調査票のとおり。【別紙 1】

4 提出方法

参入希望調査提出方法のとおり。【別紙 2】

5 今後の予定

現時点では、下表のスケジュールに沿って手続を進めることを予定しています。

平成 25 年	9 月 4 日	参入希望調査の締切り
	9 月頃	制度整備（案）に対する意見募集開始
	11 月頃	制度整備（案）の電波監理審議会諮問 ※制度整備（案）に同審議会必要的諮問事項が含まれる場合
	12 月頃	基幹放送業務認定申請受付 開始
平成 26 年	1 月頃	基幹放送業務認定申請受付 締切

3月頃	基幹放送業務認定 電波監理審議会諮問
平成27年 4月頃	放送開始予定

【連絡先】

情報流通行政局放送政策課

担当：井田課長補佐、内田係長、鈴木官

住所：〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2

電話：03-5253-5776

FAX：03-5253-5779

編集後記

今週はお盆の週です。8月に入ると通勤電車が少しずつ空いてきていて、お勤の方々が順番に夏休みをとられているのかと思います。

ARIBでは、一斉休日はございませんが、このARIB NEWSは8月19日、休刊とさせていただきます。

右の写真は日比谷濠で撮ったものです。ARIBのオフィスの近くに日比谷公園があり、その北隣にこの日比谷濠という皇居のお堀があります。

ここには白鳥が生息しているようです。この日比谷濠にいつもいるとは限りませんが、この日は一羽でのんびりと泳いでいました。

また、このお堀の中には、60cm位ある大きな鯉が何匹もいて、亀と仲良く泳いでいました。

都心とは思えない平和な自然がここには残っています。(T.K.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp